

基議総文第 2 2 1 号
令和 5 年 1 1 月 2 9 日

基山町議会

議長 重 松 一 徳 様

総務文教常任委員会
委員長 天 本 勉

所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を終了したので、その結果を報告します。

記

1 調査事項及び調査期日

(1) 基山町合宿所と基山町キャンプ場の現状及び課題について

令和 5 年 11 月 14 日 (火)

まちづくり課の概要説明および現地視察

2 調査結果

基山町合宿所は平成30年に開所し、指定管理者が管理を行っていたが、その後基山町の直営になった。直営になったことで変わったことがあるのかと質したところ、職員が管理していることで安心して使ってもらっている。経費的にはあまり変わっておらず、収入と支出の差額が600～700万円となっているとの説明を受けた。

合宿所の利用者の内訳について質したところ、1日の収容人数は最大48人であり、令和4年度の宿泊使用件数75件、宿泊使用日数85日、宿泊延べ人数1,447人に対し、令和5年度10月現在で宿泊使用件数67件、宿泊使用日数57日、宿泊延べ人数1,138人となっている。利用者については、大学のゼミでの利用や基山町や近隣の各種大会時にバレー、柔道、少年サッカー、ダンスなどのスポーツ団体が多く利用している。来年度は国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催で、県内の競技関係者等の利用が見込まれるとの説明を受けた。

現地視察を行った際、部屋に冷蔵庫やテレビを設置した方がよいのではないかと質したところ、テレビの設置は考えておらず、飲食については午後10時まで利用できる食堂を利用してもらいたいとの説明を受けた。

当委員会としては想定された年間利用者数2,000人を目標に、来年度の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて町外へのPRに努め、施設周りの景観に配慮しながら合宿所の稼働率を上げるよう提案した。

基山町キャンプ場の利用状況について質したところ、平成3年7月に開所し、当初は子供クラブ、スポーツ団体等の利用が多かったが、最近では家族で食材等を持ち込んでの利用が多く、バーベキューなどを楽しんでいる。現在ではリピーターが増えてきており、利用者数が回復してきている。令和4年度の使用件数150件、使用日数は237日、使用人数は1,244人に対し、令和5年度10月現在で、使用件数139件、使用日数192日、使用人数1,057人で、そのうち本年度の町内利用者は322人、町外利用者は735人であり、昨年を上回る予想であるとの説明を受けた。昨年度、利用者へのアンケートをもとにグレーチングや根上り等の改善を行い、シャワー室等も完備し、利用しやすくなったとの説明を受けた。

当委員会としては、キャンプ場への道筋がわかりやすくなるよう大きな看板を立てることや、今後も更に利用しやすい基山町キャンプ場を目指して施設環境整備を行うよう提案した。